

教育研究業績書

2019年 6月10日

氏名 園田 雪恵 ㊞

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例 ① 保育指導案の作成指導	2008年10月	幼稚園実習が始まる前に、これまで授業で行った設定保育の流れと保育指導案の基本的な書き方の確認を行った。
②遊びの発達の理解・お店屋さんごっこ遊びの指導	2013年4月	遊びの発達の理解と牛乳パックや卵パックなどの廃品を利用し「お店屋さんごっこ遊び」の演習授業を行った。また、子どもが金銭感覚を身につけられるような金銭保育の指導法も教授した。
③ 実習先での緊急対応についての指導	2013年9月	教育実習で緊急対応ができるよう心肺蘇生やAEDの使い方を指導した。乳児と幼児の心肺蘇生用の人形を用いて、心肺蘇生の仕方の違いも教授した。
④ 子ども学ゼミにおける幼稚園や保育所の実習で役立つ保育実践の指導	2015年4月	保幼小連携における5歳児の活動に関する講義や、模擬保育の指導を行った。また、エプロンシアターの製作や保育指導案作成など実践的な授業を行った。
⑤実習における設定保育の指導法の教授 (教育実習事前事後指導(幼)・保育実習指導ⅠA・保育実習指導Ⅱ)	2015年4月	実習の授業の中で、幼稚園実習や保育実習における設定保育がイメージしやすいように、自ら実習生役となり、指導案を作成し、設定保育を行った。発達段階に適した絵本の読み聞かせや手遊びの指導法、季節にあった制作の指導法を考案し、学生が、どのように指導計画から保育実践につなげるのか理解しやすいように指導を行った。
⑥オーストラリア保育実習における事前指導と引率	2018年8月	オーストラリア保育実習参加者に対して、簡単な英語の自己紹介の指導を行なった。また、英語が苦手な学生でも保育しやすいような紙芝居を選定し、この読み聞かせの指導を行なった。保育実習引率に際しても、紙芝居の読み聞かせの直前指導を行なった。
2 作成した教科書、教 ①学科の教職員で作成した学外実習ハンドブック	2009年4月	保育実習、施設実習、教育実習の前に学外実習ハンドブックを用いて、個別面談を行い、オリエンテーションの日程の確認や検便日程の確認を行った。
② 保育原理Ⅰ及び保育原理Ⅱ ・独自に作成したパワーポイントとそれに連動したプリント及びワークと確認テスト	2013年4月	パワーポイントとプリントを作成し、保育所保育指針の内容が理解できるように、解説をした。また、保育原理Ⅱでは、1年次に習得した保育内容5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)について復習できるようワークと10問の確認テストを作成した。
③ 保育内容環境及び保育内容健康 ・独自に作成したパワーポイントとそれに連動したプリント	2013年4月	遊びに必要な環境構成について、パワーポイントを作成し、視覚的に理解できるようにした。幼稚園での子どもの様子から、子どもの心に寄り添う保育を行うことの大切さを伝えた。健康に関する統計資料や現在の子どもたちを取り巻く環境から子どもの心身の健康を促進するにはどのような指導計画を立てるべきか検討を行った。

<p>④ 幼稚園教育実習事前事後指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独自に作成したパワーポイントとそれに連動したプリント 	2013年4月	<p>パワーポイントで勤務していた園の写真を用いて、幼稚園の年間計画やデイリープログラムを紹介した。そして、一日の実習の流れを解説した。実習日誌の書き方や、指導案の書き方の指導を行った。また、実習に必要な名札や、おもちゃ作りを行った。</p>
<p>⑤ 保育内容総論及び保育内容人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独自に作成したパワーポイントとそれに連動したプリント 	2015年4月	<p>保育内容の5領域について総合的に理解できるように、パワーポイントとプリントを作成した。遊びに関するワークや現代の子育てに関するワークを取り入れた。保育の法規に関しては確認テストで振り返りを行った。子どもの人間関係に関するもの、保護者支援にかかわるもの、園内の協働性など、様々な演習ワークを作成し、保育内容人間関係の理解を図った。</p>
<p>⑥ 教育課程論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独自に作成したパワーポイントとそれに連動したプリント ・作成した教科書「保育カリキュラムの基礎理論」(共著) ・作成した認定こども園の全体的な計画 	2015年4月	<p>幼児教育に関する教育課程の内容で毎回ワークを行った。パワーポイントとプリントを用いて学生の実習経験にあった講義内容で授業を行った。また、幼児教育と小学校教育の違いについての視覚教材に関する振り返りシートを作成し理解を深めた。2018年度からは、共著者とともに作成した教科書を使用し、保育における教育課程の理解を深めた。また、認定こども園の全体的な計画を作成した経験から、カリキュラムの作成方法の解説を行った。</p>
<p>⑦ 保育・教職実践演習 (幼・小)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独自に作成したパワーポイントとそれに連動したプリント 	2015年4月	<p>保育の評価と指導に関する授業を行った。講義では、パワーポイントとプリントを作成した。演習では、学生の模擬授業の指導を行い、他の学生の評価シートと振り返りのプリントを作成した。</p>
<p>⑧ 教育実習事前事後指導(幼)及び保育実習指導ⅠA・保育実習指導Ⅱ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設定保育における季節にあった指導案の作成 ・保育教材の作成 	2015年4月	<p>保育実習や幼稚園の教育実習を行なうそれぞれの季節に見合った指導案を作成し、その指導案から、設定保育で使う保育教材(とんぼグライダー、紙コップロケット、ぴよんぴよんカエル、葉っぱの首飾り)を作成した。授業では、教員が保育者役になり、設定保育における子どもへの指導法を伝えた。実習で活用できる授業内容の工夫を行った。</p>
<p>⑨ 教育方法論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育の指導法のワークプリントの作成 	2019年5月	<p>外部講師として、神戸市長田区の消防署の職員を招き、全学年の学生に対して、防災教育を行った。この講義内容を教育方法論の授業の中で復習をし、防災教育の指導法の授業を行った。神戸市が配布している防災にかかわる資料等を活用し、保育者として、災害から子どもの安全を守るには、どのような方法があるのか、災害で傷ついた子どもの心にどのように寄り添うのか、ワークプリントを用いて検討を行った。</p>
<p>3 当該教員の教育上の能力に関する大学の評価</p>		
<p>① 白鳳女子短期大学における授業評価</p>	2013年7月	<p>学生は、授業内で配布するアンケートに授業評価を記入。アンケート用紙は、担当教科教員が配布した後は学生が回収し、教員と離れた場所に置かれた封筒に用紙を封入する。前期の評価対象教科は、「保育原理Ⅰ」「保育原理Ⅱ」「保育内容環境」「保育内容表現」「幼稚園実習事前事後」であった。5段階評価の内、授業満足度4.2から4.5であった。1コマあたりの授業の受講人数は、22人から133人であった。</p>

<p>②保育内容「環境」の研究授業における学科の教員による評価</p>	<p>2013年10月</p>	<p>白鳳女子短期大学において、保育内容「環境」の研究授業を行なった。受講生は、44名であった。事前に指導案を作成し、子ども教育専攻の全教員に配布する。当日は、学長や教務部長も参観に来られた。そして、授業の後は、学科の教員で研究授業の反省会を行なった。反省会で、指摘されたことは、導入の時間か少し長すぎるといふ点と、講義に近い内容であったため、演習の時間をもう少し加えたほうがよいということであった。よかった点は、学生はおおむねまじめに授業に取り組んでいたということであった。また、保育以外の教員からは、保育における子どもを指導するときの環境構成の大切さが理解できたということであった。</p>
<p>③夙川学院短期大学における授業評価</p>	<p>2015年7月～現在まで</p>	<p>学生は、授業内で配布するアンケートに授業評価を記入。アンケート用紙は、担当教科教員が配布した後は学生が回収し、教員と離れた場所に置かれた封筒に用紙を封入する。</p> <p>例年、演習科目の1コマあたりの授業の受講人数は、30人程度である。保育内容総論の授業の授業評価は、4段階評価の内、授業満足度3.3から3.8であった。保育内容人間関係の授業の授業評価は、4段階評価の内、授業満足度は、3.5から3.7であった。子ども学ゼミの授業の授業評価は4段階評価の内、3.5から3.7であった。</p> <p>現在まで担当した講義科目は、教育課程論と教育方法論である。教育課程論が3.2から3.5であり、2018年度より担当している教育方法論は、3.2から3.3であった。なお、講義科目の1コマあたりの受講者は、60名から90名程度である。</p>
<p>4 その他 (実務に関する特記事項)</p> <p>①幼稚園教諭 3、4、5歳児各クラス担任。実習生指導担当。</p> <p>②専門学校 専任教員 保育指導案添削等実習指導、実習相談。</p> <p>③短期大学 幼児教育学科実習助手 ・実習指導：実習事前個人面談、幼稚園実習巡回訪問。 ・授業補助： 救命救急指導（小児保健）、ピアノ個人レッスン（器楽A、B、C）：バイエル、ブルグミュラーの特訓、園芸指導（生活園芸）、調理実習の準備と調理の援助（小児栄養）、手遊び指導（幼稚園教育実習事前事後指導）</p> <p>④小学校非常勤教諭・支援員 小学校3年生、4年生の習熟度別少人数指導の教諭。 小学校1年生～6年生の縦割活動における放課後宿題指導</p>	<p>1988年4月～1992年3月</p> <p>2008年4月～2009年3月</p> <p>2009年4月～2011年3月</p> <p>2012年9月～2013年3月</p>	<p>幼稚園では、3歳から5歳児のクラス担任を経験し、そこで、多くの実習生を迎え入れ、実習日誌や指導案の添削、設定保育の方法を指導した。</p> <p>幼稚園の現場経験をいかし、保育者を目指す学生に対して、指導案の添削を行った。</p> <p>実習前の個人面談を行い、検便の日程や、オリエンテーションの受け方などの実習の事前の指導を行った。また、幼稚園実習の巡回指導を行った。授業補助では、ピアノレッスン、園芸の授業の補助などを行った。様々な授業を補助することにより、保育者養成校における必要な知識を得ることができた。幼稚園巡回指導では、養成校と実習園とのつなぎ方の基礎を学ぶことができた。</p> <p>左記の期間に、小学校の教諭・支援員として勤務した。この期間に勤務した小学校は、3校である。算数の授業では、幼児教育の経験から得た指導法を、小学校教育の中に持ち込み、つまづいている児童に対して、分かりやすく指導するよう心掛けた。</p>

<p>⑤白鳳女子短期大学 こども教育専攻特任教員 ・授業 保育原理Ⅰ・保育原理Ⅱ・幼稚園実習事前事後指導・幼稚園教育実習・保育内容健康・保育内容環境・保育内容表現・保育者論・卒業研究 ・実習指導 幼稚園教育実習：実習事前事後指導・巡回指導 保育実習：巡回指導 ・教員変更認定科目 保育課程総論・保育内容健康・保育内容環境・幼稚園実習事前事後指導・幼稚園教育実習</p> <p>⑥夙川学院短期大学（2019年度より神戸教育短期大学へと校名変更） 児童教育学科 ・授業 保育内容総論・保育内容人間関係・教育課程論・教育方法論・保育教職実践演習・子ども学ゼミ・教育実習事前事後指導・保育実習指導ⅠA、保育実習指導Ⅱ ・実習指導 幼稚園教育実習：実習事前事後指導・巡回指導 保育実習：実習事前事後指導・巡回指導 施設実習：巡回指導 ・特例制度による幼稚園教諭免許状取得に関する授業 教育課程論・保育内容総論 ・再課程認定科目 教育方法論・教育課程論・保育内容総論・教育実習（幼）・教育実習事前事後指導（幼）・保育教職実践演習</p>	<p>2013年4月 ～2014年3月</p> <p>2013年4月</p> <p>2015年4月 ～現在に至る</p> <p>2019年3月</p>	<p>幼稚園教諭免許や保育士資格にかかわる科目を担当した。実習指導は、主に幼稚園の実習を担当し、事前の指導や、事後の面談等を行った。事前の指導では、保育教材の作成や、実習日誌や指導案の書き方、オリエンテーションの受け方等の指導を行った。事後の指導では、卒業後、保育者として、実習経験をいかせるよう、それぞれの課題を見出し、学生が、その課題に向き合い取り組めるよう、ワークや事後面談を行った。</p> <p>幼稚園教諭免許及び小学校教諭免許にかかわる科目や保育士資格にかかわる科目を担当した。実習指導は、幼稚園と保育所の実習を担当してきた。2015年度から2016年度までは、幼稚園の教育実習を担当していた。2017年度からは、さらに保育実習も担当している。 特例制度による幼稚園教諭免許状取得に関する授業を担当した。科目は、教育課程論と保育内容総論である。 2019年度からスタートした新たな教職課程の再課程認定においては、教育方法論、教育課程論、保育内容総論、教育実習（幼）、教育実習事前事後指導（幼）、保育教職実践演習、の科目担当として認定された。</p>
<p>職務上の実績に関する事</p>	<p>年 月 日</p>	<p>概 要</p>
<p>1 資格</p> <p>①幼稚園教諭1種免許状取得（大阪府教育委員会：昭62幼1普第328号） ②小学校教諭1種免許状取得（大阪府教育委員会：昭62小1普第570号） ③司書免許状取得</p> <p>④保育士免許取得（大阪府-068891）</p> <p>⑤応急手当普及員資格</p> <p>⑥幼稚園教諭専修免許状取得（大阪府教育委員会：平24幼専第1号） ⑦小学校教諭専修免許状取得（大阪府教育委員会：平24小専第1号）</p>	<p>1988年3月</p> <p>1988年3月</p> <p>1988年3月</p> <p>2012年1月</p> <p>2009年11月から 2012年10月まで</p> <p>2012年4月</p> <p>2012年4月</p>	<p>大谷女子大学（教職単位取得）</p> <p>大谷女子大学（教職単位取得）</p> <p>大谷女子大学</p> <p>大阪府知事（2011年度保育士国家試験全科目合格） 堺市消防局 心肺蘇生やAEDの使い方についての指導資格</p> <p>兵庫教育大学大学院（教職単位取得）</p> <p>兵庫教育大学大学院（教職単位取得）</p>
<p>2 特許等 特になし</p>		
<p>3 その他</p>		
<p>①地域子育て支援について</p> <p>②構内の菜園の管理と地域の子どもの園芸活動について</p>	<p>2009年4月から 2009年7月まで</p> <p>2009年4月から 2011年3月まで</p>	<p>プール学院短期大学における授業の一環として休日に行われていた行事である。堺市内の子育て家庭を対象に、定期的に大学の図書館やプレイルームを開放していた。事前に、学生が絵本の読み聞かせや手遊びが出来るよう指導を行った。当日は、親子が楽しめるよう、学生と共に、地域の親子の前で一緒にその実践を行った。</p> <p>プール学院短期大学の構内にある菜園の管理を行っていた。この菜園は、大学の園芸の授業で使用しているものである。月に一回、地域の子どもを招き、菜園活動（クラブ活動）を行っている学生と園芸の授業担当教員と共に、季節の野菜を収穫した。その野菜をその場で調理し食べるという食育活動を行った。</p>

③地域の高校生に対する幼稚園教諭についてのキャリア授業	2013年5月	奈良県立西和清陵高等学校において幼稚園教諭の業務についての授業を行った。(白鳳女子短期大学)
〃	2015年10月	大阪府立東淀川高等学校において幼稚園教諭の業務についての授業を行った。(夙川学院短期大学)
〃	2018年2月	夙川学院短期大学付属高等学校において幼稚園教諭の業務についての授業を行った。(夙川学院短期大学)
④付属園の全体的な計画の作成	2019年2月	八尾ソレイユ認定こども園の全体的な計画を作成した。重点的に取り組む保育の柱を検討し、子どもの発達段階に応じたカリキュラムを立案した。

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
<著書> 1「保育カリキュラムの基礎理論」	共著	2018年6月	あいり出版(249頁)	「保育の実践と評価」である第5章を執筆した。この章では、子ども理解と保育改善の2つの側面における評価方法について述べている。子ども理解の側面とは、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を念頭に置き、保育の中で子どもがどのように変化・発達しているかを捉えることである。また、保育改善の側面とは、カリキュラム・マネジメントの視点に基づき、保育環境や指導、援助は適切であったかということをも反省、評価することである。子ども子育て支援新制度における施設の評価制度についての概要をまとめている。(pp.232-247)(猪田裕子・岩崎成美・大橋喜美子・久保木亮子・佐藤智恵・澤田愛子・塩津恵理子・柴ひろ・園田雪恵・戸江茂博・西本望・森知子)
<紀要> 1「廉塾」－菅茶山と教育	単著	1988年3月	大谷女子教育学会誌第14号(175頁)	福山市神辺町にある廉塾についてフィールドワークを行った。そこで、江戸時代の儒学者である菅茶山は、どのような教育が行われていたのか調査したものである。資料より、塾生は、入れ替わりはあるものの、常時30名程度在籍していた。京都遊学から故郷に戻った菅茶山は、当時賭け事の町として栄えていた神辺に学問を広め、教育学術面において地域に貢献していたことがわかった。(pp.98-111)
2「保育学生の規範意識と幼児期の道徳指導観の関連性」	単著	2014年3月	幼年児童教育研究第26号(100頁)	幼児期に規範意識の芽生えを培うことが幼稚園要領に明記されている。そこで、保育学生の規範意識を善悪判断と規範遵守の二つの視点から調査し、幼児に対する道徳発達観と道徳指導観の関連性を考察したものである。(pp.49-58)
3「保育学生の授業規範と保育観の関連性の研究」	単著	2015年3月	幼年児童教育研究第27号(126頁)	保育学生の授業規範と子どもに対する保育観を調査したものである。相関分析の結果から、日頃の保育学生の授業中の規範に対する考えが、保育観に反映し、道徳指導法にも影響することがわかった。授業規範を遵守しようとする傾向が高い保育学生ほど、自分自身の規範を反映した保育観を持っており、保育者主導型の指導法を理想としていることが分かった。保育学生の授業規範は、保育における子どもの個としてのあり方だけでなく、クラス集団における子どものあり方にも、影響していた。(pp.71-78)
4「規範意識の育成に関する保育・教育課程の意義の検討－幼小接続期の集団場面に焦点をあてて－」	単著	2016年3月	夙川学院短期大学『研究紀要』(第43号)(80頁)	幼小接続期における保育課程と教育課程の中から、規範意識の育成について明示されている項目について分析を行った。分析の対象として幼児教育では幼稚園教育要領や幼保連携型認定こども園教育・保育要領等を資料とした。小学校教育では、小学校学習指導要領を資料とした。幼児期に培われた集団の規範意識を基盤にして小学校教育の集団場面において、さらにそれを強化し高めることが期待されていることがわかった。道徳には、4つの視点がある。その内3つの視点に共通性があった。また、その規範意識育成に関する教育内容は、柏木の自己制御理論を援用することにより、自己主張的規範と自己抑制的規範があることが明らかとなった。(pp.3-17)

5「特例講習科目「保育内容総論」におけるアクティブ・ラーニング型授業の報告ー遊びの中の保育内容5領域の検討ー」	単著	2016年12月	夙川学院短期大学『教育実践研究紀要』(第9号)(52頁)	幼稚園教諭免許状取得のための特例講習「保育内容総論」の授業実践の報告である。アクティブ・ラーニング型のThink-Pair-Shareの技法を取り入れた。「郵便屋さんごっこ」「色水遊び」等の子どもの遊びの事例を検討した。子どもの遊びには保育内容の5領域が総合的に含まれているものである。子どもの遊び事例から、保育内容5領域の検討を行い、総合的な指導を行う大切さについての共通理解を図った。(pp. 40-48)
6「幼稚園実習及び保育実習を経験した幼稚園教諭と保育士のイメージの比較ー色彩連想テストとテキストマインドによる自由記述の分析からー」	単著	2017年3月	夙川学院短期大学『研究紀要』(第44号)(114頁)	幼稚園教育実習と保育所実習を経験した学生を対象に幼稚園教諭と保育士の色彩イメージと自由記述をテキストマイニングによる分析を行ったものである。幼稚園教諭は、1人担任やピアノなどの難しさや赤や青に象徴されるようにきつく厳しく固いイメージの職業観をもっていた。また、保育士に対しては、桃や水など柔らかなイメージを持っていることがわかった。(pp. 69-81)
7「保育内容「環境」と小学校教育課程とのつながりー子どもの自然の関わりと命の尊重」	単著	2017年3月	夙川学院短期大学『研究紀要』(第44号)(114頁)	幼児教育における「自然と関わり・生命の尊重」の学びに、最も関わりが深い領域である保育内容「環境」の内容を検討した。そして、その学びは、小学校教育課程にどのように継承されているか考察を行った。教育課程の分析資料は、幼稚園教育要領と小学校学習指導要領である。幼児教育の「自然と関わり・生命の尊重」の学びは、生活科、道徳、特別活動の3科目と深くつながっていた。幼児期に自然の中での遊びを通して「学びの芽生え」を十分に経験する。幼児教育は、環境による学びがある。これが後に、小学校教育の「自覚的な学び」につながる。さらに、この学びは、中学校や高等学校、大学の教育課程へとつながり、さらにその後の社会生活を受講生自身の食事内容や咀嚼に関する実態を調査し、咀嚼回数と食品や料理の関連性について分析することで、咀嚼に関する現在の問題点を明らかにした。次にこれらの知見をもとに、グループディスカッションを行い、保育者として、子どもに対する援助方法や食育活動の実践に向けてどのように取り組むかについて検討した。受講生自身が、主体的に自身の食習慣を振り返ることで、食育活動に対する意欲が高まり、具体的な取り組みについて、活発な意見がみられた。今後保育者となる受講生が、食育に対する必要性の認識と食育活動への関心が高まったと考えられる。(pp. 37-47)(平田庸子・園田雪恵)共同研究につき本人担当部分の抽出不可能：主には、保育にかかわる法規の部分と、考察を執筆した。
8「咀嚼をテーマにした食育活動に関する授業報告ー食事場面における子どもへの援助方法の検討ー」	共著	2017年12月	夙川学院短期大学『教育実践研究紀要』(第11号)(59頁)	幼児教育における「自然と関わり・生命の尊重」の学びに、最も関わりが深い領域である保育内容「環境」の内容を検討した。そして、その学びは、小学校教育課程にどのように継承されているか考察を行った。教育課程の分析資料は、幼稚園教育要領と小学校学習指導要領である。幼児教育の「自然と関わり・生命の尊重」の学びは、生活科、道徳、特別活動の3科目と深くつながっていた。幼児期に自然の中での遊びを通して「学びの芽生え」を十分に経験する。幼児教育は、環境による学びがある。これが後に、小学校教育の「自覚的な学び」につながる。さらに、この学びは、中学校や高等学校、大学の教育課程へとつながり、さらにその後の社会生活を受講生自身の食事内容や咀嚼に関する実態を調査し、咀嚼回数と食品や料理の関連性について分析することで、咀嚼に関する現在の問題点を明らかにした。次にこれらの知見をもとに、グループディスカッションを行い、保育者として、子どもに対する援助方法や食育活動の実践に向けてどのように取り組むかについて検討した。受講生自身が、主体的に自身の食習慣を振り返ることで、食育活動に対する意欲が高まり、具体的な取り組みについて、活発な意見がみられた。今後保育者となる受講生が、食育に対する必要性の認識と食育活動への関心が高まったと考えられる。(pp. 37-47)(平田庸子・園田雪恵)共同研究につき本人担当部分の抽出不可能：主には、保育にかかわる法規の部分と、考察を執筆した。

9「保育者をめざす女子学生の箸の使用と食生活の関連—子どもへの食育実践にむけて—」	共著	2018年3月	神戸女子短期大学『論攷』（63巻）（110頁）	保育者養成校の女子学生を対象とし、箸の使用と食生活との関連を調査したものである。結果として、無意識のうちに箸を使わない食べ物を選択し、箸を使う頻度が高い和食から遠のいていることが窺えた。第3次食育推進計画において、保育者は、子どもに日本の箸文化を伝えることが求められている。自分の箸使用についてふりかえることにより、将来の保育者として、普段の箸の使用についての気付きが得られた。また、箸の使用機会を積極的に増やし、子どもに対する箸の使い方の指導法を検討する機会となった。(pp. 3-14) (平田庸子・園田雪恵・西川貴子)共同研究につき本人担当部分の抽出不可能：主には、保育にかかわる法規の部分と、考察を執筆した。
(学会発表) 1「保育者をめざす学生の道徳観の研究—幼児期の道徳指導観との関連—」 2「親の養育態度が保育学生の規範意識に及ぼす影響」 3「規範意識育成における保幼小連携の必要性—授業規範の基礎を培うために—」 4「保育学生の規範意識と幼児に対する道徳指導観の関連性—規範意識：因子分析の再検討—」	単著 単著 単著 単著	2012年5月 2012年6月 2012年10月 2012年11月	日本保育学会第65回大会発表要旨集（985頁） 日本道徳教育学会第79回大会発表要旨集（80頁） 日本道徳教育学会第80回大会発表要旨集発表要旨集（90頁） 日本教育心理学会第54回総会発表論文集（845頁）	保育学生の規範意識が、保育所と幼稚園の実習経験の有無により、幼児に対する道徳指導観に及ぼす影響を調査した。規範意識の低い保育学生は、実習経験により、道徳指導観が介入傾向から見守り傾向に変化することが分かった。(p743) 親の養育態度は、子どもの将来に多大な影響を及ぼす。家庭における親との関係性の中で、子どもは、社会生活の基盤が形成される。母親や父親の受容的態度は、子どもの規範意識も培われやすい。そこで、保育学生の規範意識と父親・母親の養育態度の認知との関連性について調査した。父親・母親共に受容的な接し方をしてきたと認知している保育学生ほど、規則に対して肯定的に捉え遵守する傾向があることが分かった。(pp. 72-73) 幼児教育から小学校教育における移行期の子どもの不適応課題に対する提言を行った。幼児教育においては、心の成長を促すこと、さらには、ソーシャルスキルとしての行動規範を育成しておくことが重要である。小学校教育においては、幼児教育のカリキュラムで取り入れられている「手遊び歌」や「絵本の読み聞かせ」等の導入により、落ち着いて学習に取り組めるという自身の小学校における実践発表である。(pp. 72-73) 「保育者をめざす学生の道徳観の研究—幼児期の道徳指導観との関連—」で用いたデータを再分析したものである。いずれ保育者になる学生の規範意識は、道徳指導観に影響することが、考えられる。幼児期の道徳性の芽生えを培うことは、幼稚園教育要領や保育所保育指針の中でも、重要とされている。実習経験者において、規則に対して自分にも他者にも遵守することを強く望む保育学生ほど、幼児に介入的道徳指導を行う傾向があり規則遵守に対して肯定的に捉えている保育学生ほど挨拶やお礼の練習をすることや、道徳的に理想とする行動を教示した方がよいと考えていることが分かった。(p 561)

5 「規範意識育成における幼児教育と小学校教育の接続についての考察」	単著	2013年5月	日本保育学会第66回大会発表要旨集(1002頁)	幼児教育と小学校教育の違いに触れ、元幼稚園教諭が小学校教諭として勤務した自身の経験を振り返り、実践発表したものである。算数のカリキュラムで割り算、分数は、躰きやすい。算数では、幼児教育で行う具体的な言葉がけや視覚的にわかりやすい対応が必要である。幼児教育を小学校教育に取り入れると学習に対する集中力が上がり、集団の規範が整いやすくなるという内容の実践発表を行った。(p557)
6 「保育学生の授業規範に関する研究」	単著	2014年5月	日本保育学会第67回大会発表要旨集(1058頁)	保育学生の授業規範としつけ観の関連性を検証したもの。しつけ観は、保育学生自身の授業に対する規範意識を反映することなく、実習先で子どもたちを目の当たりにして初めて原型が形成されると考えられ、保育学生の授業規範としつけ観とは、あまり関連がないことが窺われた。(p661)
7 「保育学生の授業規範と保育観の関連性」	単著	2014年11月	日本教育心理学会第56回総会発表論文集(850頁)	調査結果から、日頃の保育学生の授業中の規範に対する考えが、保育観に反映していることが窺えた。授業規範を遵守しようとする傾向が高い保育学生ほど、自分自身の規範を反映した子ども観を持っており、その理想に子どもが素直に従うことを望んでいることが分かった。それは、個としての子どもの理想観だけでなく、クラス集団における子どもの在り方にも、保育学生の規範意識が投影されていた。(p820)
8 「保育学生が抱く幼稚園教諭と保育士の違い—保育者論の授業から」	単著	2015年5月	日本保育学会第68回大会発表要旨集(1232頁)	幼稚園と保育所の実習経験がある保育学生を対象に職業観を調査したもの。幼稚園教諭のイメージは、「一人担任」「厳しい」「ピアノ」などのキーワードから、教育者としての大変さ、しんどさを感じ取っていた。保育士のイメージは、「赤ちゃん」「母親」など、より家庭に近い生活に寄り添った保育者である印象をもっていることが明らかとなった。(p632)
9 「保育学生の幼稚園教諭と保育士の職業イメージの違い：色彩連想テストから」	単著	2015年8月	日本教育心理学会第57回総会発表論文集	幼稚園と保育所の実習経験がある学生を対象に色彩連想テストから職業イメージを調査したものである。幼稚園教諭は、赤の「情熱・怒り」などの感情のきついイメージであり、また青に象徴される「冷静な・落ち着き」というイメージであった。保育士は、ピンクの「弱い、優しい、快い」など温和なイメージであり、水色で幼稚園教諭よりもソフトなイメージをもっていることが分かった。(p396)